

# 令和5年7月10日～7月16日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和5年度第11報)

## 1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

7月10日～7月16日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、7月13、14日に「警戒」を示す25以上28未満となり、7月10、11、12、15日に「嚴重警戒」を示す28以上31未満、7月16日に「危険」を示す31以上となりました。

6都市の10年間平均値と比較すると、暑さ指数(WBGT)は13、14日以外で10年間平均値より高くなり、7月10、11、16日は2以上高くなりました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、札幌を除く全都市で「嚴重警戒」を示す28以上になる日があり、仙台、東京、名古屋、高知、鹿児島、那覇では「危険」を示す31以上になる日がありました(表1、表2参照)。

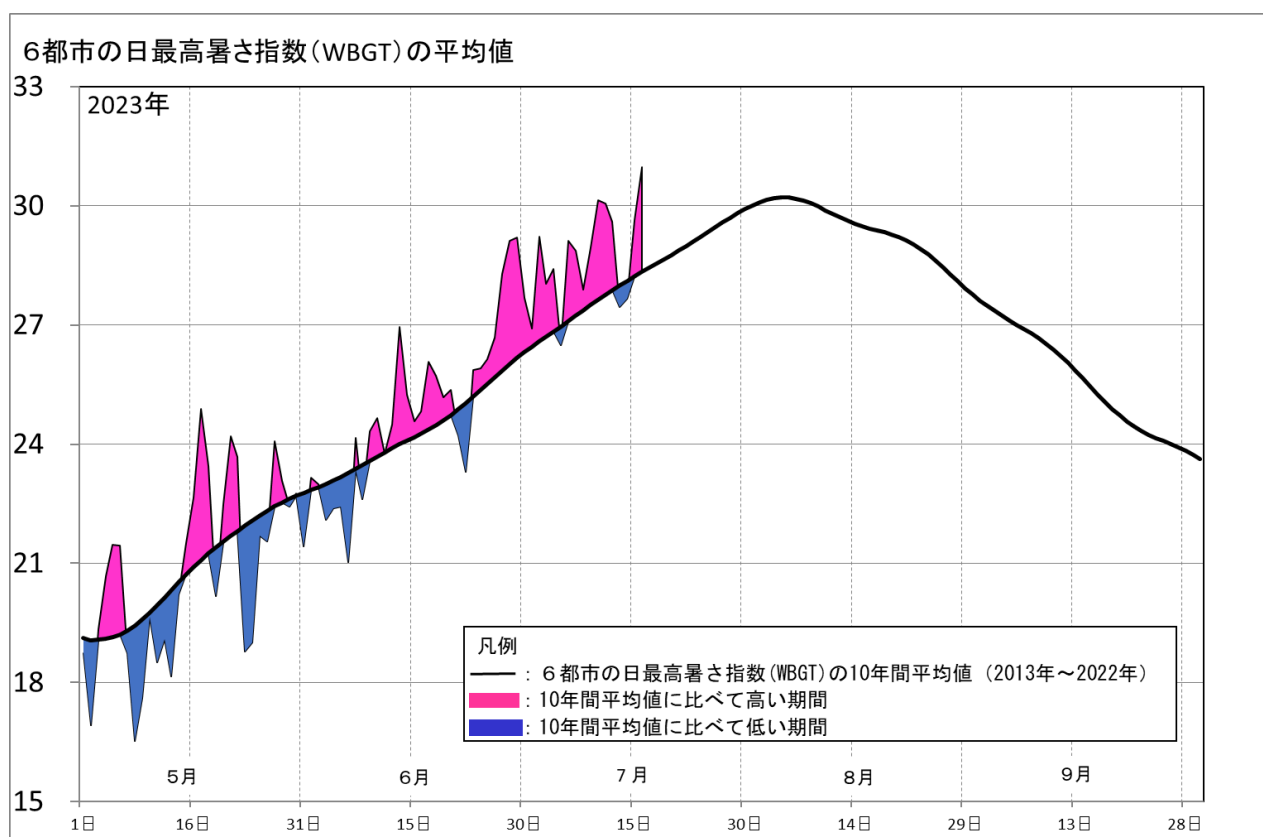


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(7月10日～7月16日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
10	25.6	30.9	29.9	33.8	32.5	30.0	26.4	29.4	28.3	32.5	32.8	30.2
11	26.6	29.4	28.4	32.4	30.1	30.5	29.4	31.1	29.6	31.3	31.8	30.1
12	24.7	28.4	25.9	32.7	31.3	30.5	27.5	30.5	29.7	30.9	32.0	29.6
13	23.7	28.2	27.1	26.8	25.7	28.5	27.4	30.9	29.2	31.0	32.4	27.5
14	23.9	24.8	25.4	28.5	29.6	29.7	25.7	28.6	27.0	29.0	31.8	27.7
15	20.2	24.5	27.1	30.0	30.9	30.8	28.7	30.0	30.3	31.3	31.4	29.6
16	27.0	31.4	29.5	34.5	32.6	30.2	28.5	31.2	30.5	30.8	31.0	31.0

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の7月10日～7月16日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	2	0	26	8	0	0	2	0	8	24
28以上	0	27	15	54	55	39	8	53	35	72	72
25以上	14	61	67	126	106	124	71	147	156	168	167

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

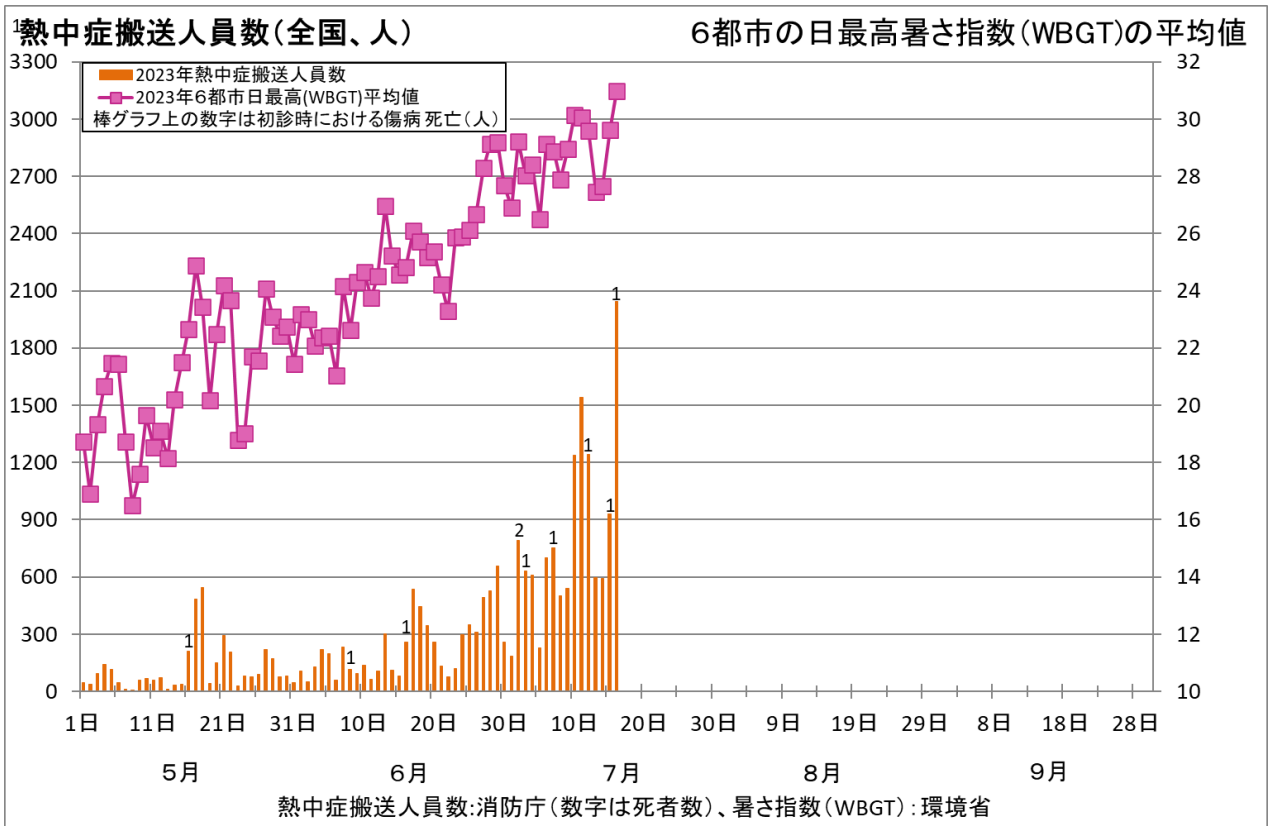


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と全国の熱中症搬送人員数の推移

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、多い日が7月11日の1,541人、16日の2,042人で、7月10日～7月16日の総数は8,189人(死者3名含む)となりました(図2)。

### 3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

7月10日～7月16日の間、熱中症警戒アラートの発表状況は以下のようになっております。（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（7月10日～7月16日）

地方 <sup>※1</sup>	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 <sup>※2</sup>	0	0.3	2.2	2.3	1	0.7
のべ回数	0	2	20	9	4	4
地方 <sup>※1</sup>	中国	四国	九州北部 <sup>※3</sup>	九州南部・奄美	沖縄	
域内平均 <sup>※2</sup>	0.5	2	1.2	5.7	3.3	
のべ回数	2	8	7	17	13	

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

### 4. 今後の見通し（7/19 14:30時点）

7月21日までの予測期間において、全国で「厳重警戒」を示す暑さ指数28以上に、関東地方以南で「危険」を示す暑さ指数31以上になる地点がある見込みです。

気象庁の2週間気温予報（7月19日発表、7月20日～7月31日）によると、「北日本の気温は、向こう10日間程度は暖かい空気に覆われやすいため平年並か高く、北海道地方ではかなり高くなる日もあるでしょう。農作物の管理等に注意するとともに、熱中症対策など健康管理に注意してください。その後は平年並でしょう。

東日本の気温は、向こう6日間程度は平年並でしょう。その後は平年並か高いでしょう。熱中症の危険性が高くなりますので、健康管理に注意してください。

西日本の気温は、向こう1週間程度は平年並か低い日が多いでしょう。その後は平年並か高いでしょう。熱中症の危険性が高くなりますので、健康管理に注意してください。

沖縄・奄美の向こう2週間の気温は、太平洋高気圧に覆われやすいため平年並か高く、かなり高い日もあるでしょう。農作物の管理等に注意してください。また、熱中症の危険性が高い状態が続きますので、健康管理に注意してください。」となっております。

（参照：2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>）

